



CONTENTS NIHONGO-KYŌIKU TSŪSHIN No. 63/JAN 2009

- 表紙・特集1 1
現場の機動力を支援する大学院プログラム
—各国の日本語教育界をリードする人材の養成—
日本語国際センター 研修事業課
今井理恵・専任講師 築島史恵
 - 表紙・特集2 4
「みんなの教材サイト」リニューアル!
 - 授業のヒント 6
教室を楽しくする工夫
—指名やグループ作り—
 - 新聞・雑誌から見る現代日本 第31回 8
ケータイ小説
 - 本ばこ (新刊教材・図書紹介) 11
 - 文法を楽しく!! 第13回 14
「取り立て助詞」
 - KC (関西国際センター) 研修生の
Nipponレポート 第13回 16
服を無駄にしませんか
- ※ 本誌で、ルビが文字の下に付いているのは、紙や物差しなどでルビを隠して、漢字の読みの練習ができるようにするためです。

On the Web

http://www.jpf.go.jp/j/japanese/survey/tsushin/index.html

以下の記事はJFのウェブサイトのみにてご覧になれます。

- 海外日本語教育レポート 第20回
インド中等教育における外国語教育と日本語教育の位置づけ
バンダ・ナビン
デリー大学東アジア研究科 政策研究大学院大学 (博士課程)

『日本語教育通信』 第63号

2009年1月発行

編集・発行 国際交流基金 日本語グループ
〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区
北浦和5-6-36
国際交流基金日本語国際センター制作事業課
TEL. 81-48-834-1184 Fax. 81-48-834-1187
E-Mail. jfnct@jpf.go.jp
編集協力
株式会社アーバン・コネクションズ

今号をもって『日本語教育通信』を印刷物として発行することを休止します。長い間ご愛読頂き、ありがとうございました。今後はウェブサイトでの情報提供をさらに充実させていきます。引き続きウェブ版『日本語教育通信』をご活用下さい。
http://www.jpf.go.jp/j/japanese/survey/tsushin/
(次回更新予定 2009年5月)

現場の機動力を支援する大学院プログラム

—各国の日本語教育界をリードする人材の養成—

日本語国際センター 研修事業課 今井理恵・専任講師 築島史恵

国際交流基金日本語国際センター (以下「センター」) では、各国や各地域の日本語教育界のリーダーとして活躍する人材を養成するために、海外の非母語話者の日本語教師を対象として、大学院プログラムを開設しています。センターと政策研究大学院大学、国立国語研究所の3機関が連携して運営しているプログラムです。修士課程は2001年に始まり、2007年度までに24カ国61名の教師がこのコースを修了しました。博士課程は2004年に始まり、2008年3月に博士第1号が誕生しました。この大学院は、国際交流基金が行っている海外の日本語教育への支援の中でも、特にその中核で機動力となって活躍できる教師を育てるための特色あるプログラムです。

《修士課程：日本語教育指導者養成プログラム》

1. 概要

このプログラムの目標は、日本語や日本語を教えることに関して高い専門能力を持ち、日本文化についても幅広い知識や洞察力を持つ人材を育てることです。このプログラムは、1年間で、他の大学院の2年間の内容を修了します。長い間、現場を離れることができない現職の教師が主な対象者だからです。



修士プログラム第7期修了生

そのため、この1年間は学期と学期の間に1週間程度の休みがあるだけで、とても厳しいスケジュールで進みます。

2. リーダー (指導者) を養成するためのプログラム

(1) カリキュラム

表1のようなカリキュラムから33単位以上の単位を取ります。

このカリキュラムの中で、特にリーダー養成という点から特徴的なのは、「教師教育論」という通年科目です。この科目では、まず「教師の役割」や「教師の資質」について学生と教員が一緒に考えたり、自国や地域の「学習環境マップ」を作ったりします。そして、それぞれの現場で、実際に何が「リーダー (指導者)」に求められるのか、ということをおまえて、このプログラムに参加する姿勢を考えます。また、1年間、他の授業で学んだことを、自国や自分の現場にどのように生かせるか、を考えます。さらに、「ダイアリー」を書いて自分自身をふりかえること、それを「ジャーナル」という形で、1年に5回提出することが義務づけられています。この継続的な課題で、学生自身が、自分の意識や考え方が1年の間にどう変わっていくかを自己確認します。

表1：日本語教育指導者養成プログラムのカリキュラム（2008年度）

（単位数が書いてある科目以外は、すべて2単位。2単位のために、90分の授業が15回あります。）

領域	秋学期（16週間）				冬学期（8週間）		春学期（16週間）				夏学期（8週間）	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
言語	日本語表現法演習 日本語学Ⅰ				日本語学Ⅱ *対照言語学		*社会言語学 *言語学概論		*認知言語学			
言語教育	日本語教育概論 日本語教授法Ⅰ（4単位） 言語教育研究法				*日本語教授法Ⅱ							
社会・文化・地域	現代日本の教育と文化						現代日本の社会システム *異文化コミュニケーション *言語教育政策研究					
特定課題研究	演習Ⅰ（3単位）						演習Ⅱ				演習Ⅲ／論文	

*は選択科目。特定課題研究の夏学期は、演習Ⅲ（レポート）か論文のどちらかを選択。

表2：修士の研究テーマ例

内容	研究テーマ	国
漢字指導	フィリピン日本語学習者と教師の漢字学習に対するピリーフとストラテジー使用 漢字の多面的な学習を目指した学習教材の作成に関する研究	フィリピン ブラジル
語彙指導	ドイツの成人学習者向け初級日本語コースにおける語彙学習－復習練習を取り入れる試み－	ドイツ
文法指導	キューバの日本語教育の現状を考慮した受身文の指導の考察 ミャンマー人日本語学習者の「は」「が」の学習上の問題点と指導上の留意点について	キューバ ミャンマー
教室活動	マレーシアの中等学校におけるノン・ネイティブ日本語教師のための「場面のある練習」 コミュニケーション重視の教室活動の展開－「総合日本語」の授業の改善を目指して－	マレーシア 中国
会話指導	ドラマを用いた日本語会話授業－コミュニケーション能力の養成を目指して－ 初級から中級への橋渡しとなる会話授業に関する一考察 －アラバエフ名称キルギス国立大学付属社会科学東洋学大学での試み－	インドネシア キルギス
読解指導	読解ストラテジーの使用から見た物語文の読解過程 －キエフ国立言語大学における読解指導の改善に向けて－ 要約力養成に向けた内容理解のタスクの導入－中級レベルのベトナム人学習者を対象に－	ウクライナ ベトナム
聴解指導	「モニター」ストラテジー指導を初級聴解授業に取り入れる試み－「質問」の活動を通して－ ピア学習による仮説検証型聴解授業の試み－カザフ民族大学を例に－	中国 カザフスタン
作文指導	韓国の高校における作文授業の現状と改善案－済州外国語高等学校でのピア推敲活動を通して－	韓国
シラバス開発	ビジネス・コミュニケーションを中心とした中級向けのシラバス開発 －日印ビジネスの現場における日本語使用実態調査をもとに－ マダガスカル人日本語ガイドのための「親光日本語」シラバス作成	インド マダガスカル
教材・テスト開発	ハンガリーの中教育用の日本語教科書作成にむけて ジャカルタとその周辺の日系企業のニーズを踏まえた大学生用日本語会話教材の作成 口頭表現力を測定するテストの開発	ハンガリー インドネシア ブラジル
その他	ケニアにおける日本語教育学習環境の研究 コミュニケーション・アプローチに基づく授業における視聴覚教授メディアが学習者の学習意欲に与える影響	ケニア マレーシア

今まで提出されたジャーナルを見ると、①理論と現場の実践の関連性、②自分や自国の人たちの教授観や学習観、③他者との共同活動の意義などについて、次第に深く考えるようになることがわかります。

(2) 特定課題研究

このプログラムで各自が行う研究も、自分の教授技術を向上させるだけでなく、まわりの教師達に成果を還元できるものでなければなりません。そのため、来日前に、自国や

自分の現場の問題点や課題をよく調べて研究テーマを設定
します。また、春学期には、原則として、1カ月自国に帰って
実習します。研究を頭の中ではなく、実際の現場の中で
考えるためです。(表2)

3. 修了生の活躍

修了生は自国に戻って、それぞれ活躍しています。
多くの修了生が、所属機関でミドルリーダー（現場の
リーダー）としてまわりの教師達の指導的役割を担って
います。学科長や教師会の役員になった人達、勉強会や
セミナーを積極的に開いている人達もいます。

また、研究を続けている人も多く、発表もしています。
そのため、この修士課程では、修了生のフォローアップの
一環として、日本で行った研究を継続して、再び日本国内で
開催される学会で発表したい人のために、支援プログラム
を用意しました。さらに、国内外の博士課程に進んで、
研究を続けている人もいます。

一方、プログラムの同級生同士での連絡も続いていて、
世界規模のネットワークができています。修了年度を越えた
連携も始まっています。

《博士課程：日本語文化プログラム》

1. 概要

このプログラムの目標は、修士課程と同じように、
日本語教育、日本文化に関して幅広い知識とそれを
生かす力を持って、自国や地域で日本語教育の企画・
推進の中心的な役割を果たす教師や日本語教育行政官など
を育てることです。さらに、研究者としても、国際的な
場で活躍し、情報を受発信できる人材を養成しています。
修業年限は3年が標準です。学生の研究計画やそれまで
大学や修士課程で履修してきたことにあわせて、1人ずつ、
個別のカリキュラムを編成して指導を行っています。

2. 高い水準の教育研究を推進するプログラム

博士課程では、論文提出までに、次のような手順が
あります。在籍者は、自分の研究だけでなく、日本語教育や
関連分野について幅広い知識を持つことが望まれます。また、
自分の研究については、様々な場で研究発表を積み重ね、
その研究の正当性や妥当性、成果の学術的貢献度を立証
していかなければなりません。

- (1) 入学1年目：演習科目を8単位以上履修。
- (2) 入学2年目以降：
 - ①博士論文提出資格試験（QE）。（不合格の場合、1度だけ再受験できる。）
 - ②演習科目2単位以上、特別研究科目（博士論文を進めるための科目）を履修。
 - ③Ph.D. Candidate Seminarなどで研究成果を発表。
- (3) 入学3年目以降：論文発表会で審査を受ける。（不合格の場合、1度だけ再審査を受けることができる。）

現在、博士課程に在籍している学生は6名で研究テーマ
は、漢字学習に関する研究、日本語のアクセント指導の
研究、動画を利用した学習に関する研究、第二言語習得
におけるリキャストの研究、中等教育における外国語
教育政策の研究等です。

3. 修了生

2008年、1期生の

冷麗敏さん(中国)が、
「学習者の主体的な
授業参加を導く教師
の行動—中国の高等
教育における日本語



(中央)博士号取得第1号冷麗敏氏
教育の現状と課題を踏まえて—」という研究を行い、
博士第1号となりました。2009年には、2人目の博士が
出る予定です。

《日本語文化研究会》

2004年、この2つの大学院プログラムの教育と研究成果
を発信し、また、世界中に広がっている関係者の方々と
意見や情報を交換するために、「日本語文化研究会」を
設立しました。この研究会は、両プログラムの学生と修了生、
そして教員を中心としたメンバーで構成されています。

この研究会の活動内容は、以下の4つです。

①『日本語文化研究会論集』の発行

年1回。修士課程の特定課題研究と一般に公募した
投稿論文の2部構成になっている。

②「日本語文化研究会」の開催

年2回。12月の研究会では、学生が自国の日本語教育
について紹介する。

9月の研究会では、
研究成果の発表を
行っている。

③コロキアムの開催

④日本語教育に 関する情報の提供



第14回 日本語文化研究会

このように、日本語国際センターで行われている大学院
プログラムは、「各国、各地域の日本語教育界を实际にリード
する」力を持った人材を毎年輩出しています。私たちは、
彼らの活躍を心から願っています。

大学院プログラムの詳細については、以下のHPをご覧ください。

日本語国際センターのHP：

http://www.jpj.go.jp/j/urawa/trnng_t/trnng_t.html

政策研究大学院大学のHP：

http://www.grips.ac.jp/jp/pstudents/inter_programs/graduate.html

http://www.grips.ac.jp/jp/pstudents/phd_programs/graduate.html

みんなの教材サイト 「みんなの教材サイト」リニューアル!

日本語国際センター制作事業課
にほんごこくさいせいさくしきぎょうか

高野千恵子・赤澤幸
こくのちえこあかざわゆき
磯村一弘・三原龍志
いそむらかずひろみはらりゅうし

国際交流基金日本語国際センターでは、日本語教師の教材作成を支援するインターネット・サイト「みんなの教材サイト」(http://minnanokyozaï.jp/)の全面リニューアルを行いました。この記事では、「みんなの教材サイト」の開設以来の利用状況を報告するとともに、2008年10月に公開した新しい「みんなの教材サイト」の特徴をご紹介します。



1. 「みんなの教材サイト」の概要

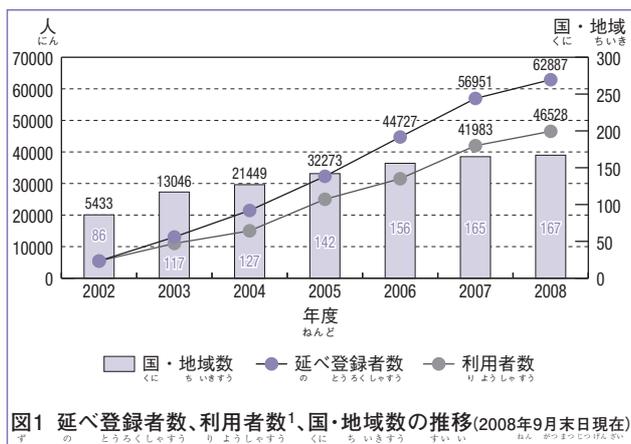
(1) 基本方針

- ①世界のどこからでも簡単に活用できること
- ②著作権許諾の手続きが必要ないこと
- ③利用者からも素材や情報の発信ができること
- ④教師の専門性発達に役立つこと

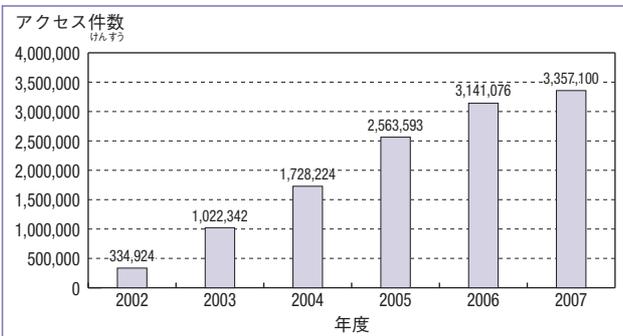
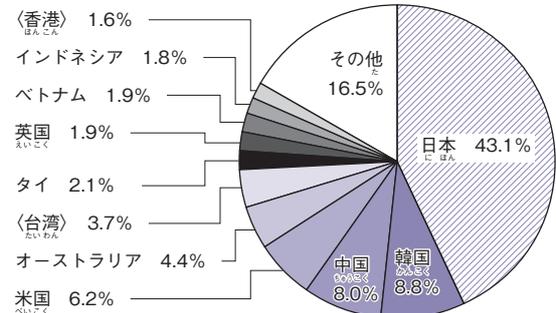
「みんなの教材サイト」は、上の4つの基本方針のもと、教室活動や写真、イラスト、文法解説・例文などの日本語教育用素材を提供してきました。また、利用者からも素材や情報の発信ができる、利用者間の交流の場を設けて、運営を行ってきました。

(2) 利用状況

「みんなの教材サイト」はユーザー登録制のサイトです。2008年9月末までの延べ登録者は62,887人で、登録者の居住地は167の国と地域に上っています(図1)。



登録者の国・地域別の割合は、最も多いのが日本で約43%、次いで韓国、中国、米国、オーストラリアとなっています(図2)。2002年の公開以来、アクセス件数は年々増加しており、2007年度のアクセス件数(ページビュー)は約336万件でした(図3)。



2. リニューアルについて

(1) 背景

2002年以来、登録者やアクセス件数は年々増えてきましたが、2007年3月と2008年3月にユーザーアンケートを実施したところ、より多くの種類と数の「教材用素材」がほしいという回答や、検索が使いにくく、ほしい素材が見つからないという回答が数多く寄せられました。また、「みんなの教材サイト」は利用者から素材や情報の発信ができることをひとつの方針にしていたにもかかわらず、これまで、利用者からの発信はあまり多くありませんでした。「みんなの教材サイト」のリニューアルは、このような課題の解決を目指して実施されました。

(2) 新しい「みんなの教材サイト」

●「教材用素材」の追加

まず、「教材用素材」を「教室活動」「イラスト」「写真」「文法」「読解」の5種類に整理しなおすとともに、「教材用素材」の追加がしやすい仕組みのデータベースを構築しました。そして、リニューアル時には、イラスト「初級語彙イラスト集」308点と教室活動「季節の活動」109点を、新しく追加しました。



図4 「初級語彙イラスト集」のイラストの例
(左から「取り替えます」、「歌います」、「読みます」)

「初級語彙イラスト集」(図4)は、基本語の導入に使えるようなイラストが少ないという利用者からの意見をうけて、新たに開発したものです。現在の日本語能力試験の初級レベル(4、3級)の語彙表から308の動詞を取り出してイラスト化しました。また、「みんなの教材サイト」が主な対象としている海外の日本語教育の現場では、日本語の教授だけでなく日本の文化や習慣が伝えられるような教室活動が求められることも多いため、教室活動「季節の活動」のシリーズを開発しました。このシリーズは、日本の季節の風物について理解を深めつつ、日本語を使った教室活動ができるように工夫されています。

これらを追加した結果、新しい「みんなの教材サイト」には現在、教室活動270点、イラスト7,728点、写真515点、文法246点、読解10点の計8,769点の「教材用素材」が掲載されています。

●検索機能の改善

前述のとおり、「教材用素材」を5つの種類に整理しなおして、各素材の特性に合わせた検索ができるようにしました。例えば「教室活動」の場合、「教科書を作ろう」と「季節の活動」という2種類の活動集がありますので、すべての

活動案を検索できる横断検索の機能と、活動集ごとの一覧画面を作りました(図5)。また、「写真」、「イラスト」、「文法」については、キーワード検索以外に、「50音順リスト」などの一覧画面も作成しました。

●コミュニティ機能の改善

利用者間の相互交流を活性化するため、利用者が気軽に参加できるインターフェイスを目指しました。素材・アイデアの投稿画面を簡素化し、写真1枚からでも手軽に投稿できるような画面にしました。素材・アイデアに対する感想やコメントも気軽に送ってもらえるよう、「役に立った投票」を設けたり、「コメント」を素材画面のすぐ下に書き込めるような画面に変更しました。

3. リニューアル後の反応と今後

リニューアルから約1ヵ月が経った2008年11月現在、新しい「みんなの教材サイト」に対する反響はまだ十分に集まっていません。しかし、2008年11月のアクセス数は約54万件で、リニューアル前の9月と比較して2倍になりました。また、利用者からのコメントや素材・アイデアの投稿も大幅に増えており(表1)、利用者が積極的に新しいサイトを使っていることがわかります。

今回のリニューアルはひとつの通過点に過ぎません。利用者みなさんから寄せられる声に、今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。次は形容詞のイラスト素材の追加を予定しています。これからも「みんなの教材サイト」の発展にご期待ください。

	2008年8月	9月	10月	11月
コメント数	3	4	24	75
素材・アイデア数	0	0	2	21

※リニューアルオープンは2008年10月22日。

表1 コメント数、素材・アイデア数の推移

1 「利用者数」とは、退会者、及び事務局からメールでの連絡が取れなくなったため、一時的に利用停止にしている登録者を除いた数。



横断検索画面

教室活動トップページ

活動集ごとの一覧画面

図5 「教室活動」トップページ、検索画面、一覧画面

★ 授業のヒント

テーマ 教室を楽しくする工夫 — 指名やグループ作り —

目的 もくてき
教室に変化を与え、学習者が授業を楽しめる 要素を増やすこと
学習者のタイプ がくしゅうしゃ
初級～上級 しよきゅう じょうきゅう
クラスの人数 にんずう
人数によって適切な方法を選ぶ

◆ 指名の方法

みなさんは、学習者を指名する(あてる)とき、どのようにして決めていますか。手をあげた学習者をさすという方法がありますが、教師が主導で、学習者を指名する方法もありますね。指名を受ける方の学習者は、自分があたるかどうか、どきどきしながら待っているかもしれません。

2008年度海外日本語教師長期研修のあるクラスの皆さんに、指名方法について聞いたところ、次のような方法がありました。

席の順番、リストを見てアトランダムに、ほーっとしている人、おしゃべりしている人、宿題を忘れた人、わかっていないかもしれない人、……など

その他、あてられた学習者が、次の学習者を指名するというアイデアも出ました。

名前や番号を言って指名したり、席の順番であてたりする方法は、手間や時間がかからないというメリットがありますが、いつも同じ方法ではなく、いろいろな方法をとってみることは、授業に変化を与えるきっかけとなるでしょう。日本語を使って指名する場合は、学習者が自分にあたるかどうか注目しているので、聞くことに集中できている状態とも言えます。そこで、学習者がスリルと楽しさを味わえると同時に、総合的な日本語や日本文化の学習になるようなアイデアを次に紹介します。

1) 教師があてる人を決めている場合

① その学習者の特徴(体の特徴、洋服、趣味、出身地など)を説明する文を聞かせる

例) めがねをかけていて、水色、黄色、黒、緑色の線の入ったシャツをきている人、(まだ特定できなかつたら、

学習が進んでクラスの雰囲気慣れてくると、毎回の授業の中のちょっとした変化が楽しさにつながるがあります。今回は、授業で行う「指名」と「ペアやグループ作り」の工夫を紹介します。

どんどんヒントを加えていきます)……スポーツが大好きで、昼休みにバレーボールをやっている男性

② 名前や学生番号を説明文に利用する

例) 1年の最後の月の数字(12)に5を足して、クラスの人数(15)をひいた番号の人(2番の人)

2) 教師が誰にあてるか決めない偶然による指名

① さいころを使って出た目の数の番号の人

さいころ2個で12人、5個で30人まで指名ができます。みんなから見える大きいさいころを使ったり、学習者にさいころをふってもらったりすると楽しさが増すでしょう。

② 人を選ぶときに歌う「わらべ歌」注) で決める

次の歌を歌いながら(下線の部分を1拍のリズムで歌う)、座席の順番に1人ずつ指でさしていき、歌が終わった人のところで、さされた人があたる。(28番目の人があたる例)

歌: だれにしようかな、てんのかみさまのいうとおり、てっぼううってどんどんどん
(誰にしようかな、天の神様の言う通り、鉄砲撃ってどんどんどん)

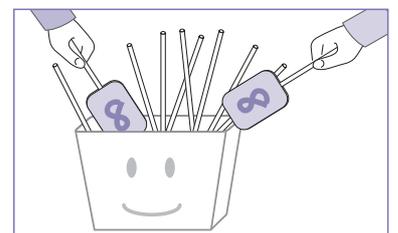
注) わらべ歌: 昔から伝えられている子供が遊ぶときに歌う、リズムのよい歌。歌の歌詞は、地方や年代によって違いがあることが多い。

◆ ペア作りの方法

今度はペアを作る方法を考えてみましょう。

まず、割りばしやストロー、つまようじなど、「くじ」になるものを用意します。同じものがたくさん準備できるものだったら何でもいいです。そして、赤2つ、青2つ、緑2つなど同じ色のもの、あるいは同じ数字や同じ文字、同じことばを書いたものなどを2つずつ作っておきます。

教室では、それを1つずつ学習者に選ばせます。自分と同じものを引いた人がペアの相手になります。



ペア作りをすることが主目的ですが、このようにちょっとした遊び心あそびごころを加えるだけで、学習者が興味を持って活動に参加するきっかけになります。

人数の多いクラスでは、全員でくじ引きするのは一苦労ひとくらくですし、時間がかかって大変でしょう。でも、もしもペア練習をいつも何となく隣の人同士ひとどうしでさせていた場合には、たとえば、前後の人同士をペアにしてみたり、いつもとはちがう席せきに座らせたりしてみると、今までとはちょっとちがった変化へんかが生まれるでしょう。

◆グループ作りの方法

次に、学習者を分けていくつかのグループを作るための方法を紹介しましょう。

2つのグループを作りたいときに、日本の子どもたちは「グーパー」という方法を取ることがあります。

皆さん、ジャンケンじゃんけんは知っていますね。ジャンケンの中でグーご（石）とパーぱー（紙）だけを使います。

グーパーのやり方

- ① 全員が向かい合う。
- ② 片手をグーの形にして前に構えながら、大きな声で「グー、パー、ジャン」と言う。
- ③ 言い終わると同時に、構えた手をさらに前に出す。このとき、出す手はグーパーのどちらかだけ。
- ④ 半分の人数に分かれるまで②と③を繰り返す。

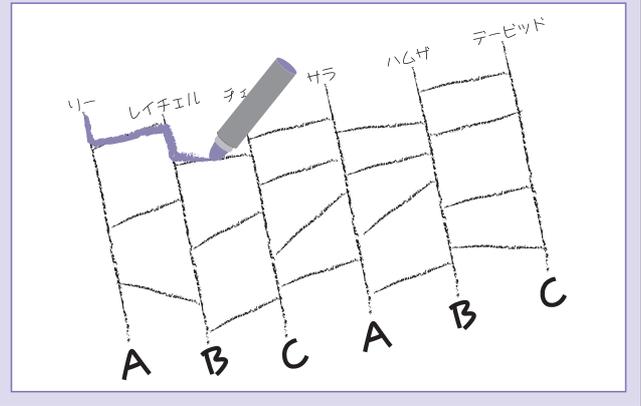
クラスの人数が多いときは、隣りの人同士でグーパーをして、グー組とパー組に分かれるようにしてもいいでしょう。では今度は、グループを3つ、4つ、5つ…と作りたいときの方法を見ます。

日本の子どもたちが何かを決めるときに使う方法に「あみだくじ」というものがあります。

あみだくじのやり方

- ① 紙や黒板に、クラスの人数分だけ縦にまっすぐ線を引く。
- ② 線の一番下に、グループの名前を書く。たとえば、3つのグループ（A、B、C）を作りたいときには、右上の絵のように、書く。縦の線の上がスタートで、下がゴールになる。
- ③ 縦に並んだ線と線の間、横に線を書き加える。これによって、誰がどのグループになるかが決まるので、横の線は何本でも好きなだけ、書き加える。
- ④ 全員がスタートの線（縦の線の上）をどれか1つ選ぶ。2つ以上選んではいけない。

- ⑤ 1人1人順番に、スタートから線をたどって、ゴールに向かって進む。途中で横の線があったら、必ず曲がらなければならない。
- ⑥ 全員が終わったら、ゴールに書いてあるグループの名前（記号）にしたがって分かれる。



この他にも、次のような方法もあります。

はじめに全部の机かイスの下に、A、B、C、D…など分けたい数だけのグループ名を書いた紙を1枚1枚貼っておきます。授業中に学習者に自分の机の下かイスの下にある紙を見るように指示します。学習者はその紙に書かれているグループのとおりに分かれるというやり方です。準備は、学習者が教室に来る前しておくようにしましょう。

また、ペア作りで紹介したくじ引きを応用して、たとえば5人で1つのグループを作りたいときに、くじの1つ1つにひらがな1文字を書いておいて、「あ」「い」「う」「え」「お」を選んだ5人が1つのグループ、か行を選んだ5人が別のグループという方法もあります。

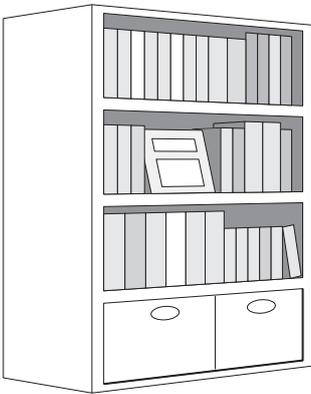
（2008年度長期研修生フィリピンのMさんのアイデア）

指名やグループ作りを工夫すると、手間や時間がかかるというデメリットがあります。でも、授業の時間全体を日本語で楽しくコミュニケーションする時間と考えると、指名するときやペア/グループを作るときも、学習者が偶然の要素やゲーム的な要素を楽しんだり、総合的に日本語や日本文化を学んだりすることができるチャンスと言えるでしょう。また、ペアやグループが変わることによって、インフォメーションギャップができたり、新しい相手について知りたいという動機づけになったりして、学習者にいい意味での緊張感が生まれ、その後のクラス活動にもよい影響を与えることも期待できます。

指名したりペア/グループ作りをしたりするときに、一工夫してみてもいいかがですか。

このコーナーの担当者：有馬淳一（日本語試験センター研究員）、木田真理（日本語国際センター専任講師）

読者のみなさんからのアイデア、成功例、失敗談などぜひお寄せください。



本ばこ

—新刊教材・図書紹介—

「日本語の教材や図書に関する新しい情報がほしい」という海外の先生方の声をよく聞きます。このコーナーでは、最近出版された日本語教材や参考書を中心に紹介していきます。誌面の制約上、一回に多くの本を紹介できませんが、「海外の先生にとって使いやすい教材」「授業や研究の役に立つ本」、また、「知っているとな便利図書・資料」などを取り上げます。

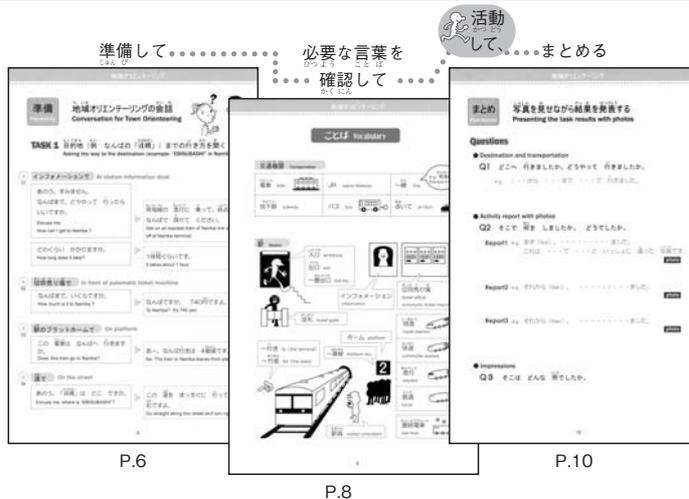
※データ凡例 ①著者 ②出版社 ③刊行年月 ④ISBN ⑤判型・ページ数 ⑥定価 ⑦その他

教室の「ウチ」と「ソト」をつなぎ、活動中心のコースをつくるためのアイデア満載

『日本語ドキドキ体験交流活動集』



●データ●
① 国際交流基金関西国際センター熊野七絵、品川直美、田中哲哉、中島透、西野藍、羽太園、矢澤理子 **②** 株式会社凡人社 (〒102-0093 東京都千代田区平河町1-3-13) TEL. 03-3263-3959 FAX. 03-3263-3116 URL. <http://www.bonjinsha.com> **③** 2008年9月 **④** 978-4-89358-685-8 **⑤** B5判 178頁 **⑥** 2,520円 **⑦** CD1枚



国際交流基金関西国際センターでは、海外の大学や高校で日本語を学ぶ学習者を対象とした短期訪日研修を行っています。この教材は「日本を体験したい!」「日本人と交流したい!」という海外の学習者のニーズに応えるために、関西国際センターで行われてきた体験交流活動を中心としたコースのアイデアを教材化したものです。初級から中級まで幅広いレベルの学習者に、またレベル差があるクラスでも使うことができます。

▽教室の「ウチ」と「ソト」をつなぐ

学習者が教室の外に出て、あるいは外にあるリソースを活用しながら日本語を学ぶために、地域オリエンテーリング、交流会、インタビュー、学校訪問など11の活動例を紹介しています。
 1) 教室で準備する、2) 外で体験・交流する、3) 教室に戻って体験したことをまとめる、という一連の流れの中で、総合的に日本語を使うことができます。また、活動をコーディネートする教師のために時間配分やスムーズに実施するためのコツも盛り込まれています。海外の現場でも在住日本人と交流を行ったり、日本食スーパーなど教室外リソースを活用したりする際のヒントになるでしょう。

▽PowerPointで日本を紹介する

活動の前に日本の文化、社会の基礎知識を紹介するためのガイド用資料もあります。テキスト以外にも、クイズや写真を多用したPowerPoint版がCD-ROMに収録されています。伝統文化から歴史、教育、そして若者ことば、アニメ・マンガまで、簡単な日本語で楽しく紹介することができます。これにより、学習者の興味や問題意識が高まるため、活動に主体的に取り組み、日本の文化や社会への理解をより深めることができるでしょう。

▽活動中心のコースをつくる

活動を中心としたコースでは、どのような評価を行うかが問題となります。この教材では学習者自らが学習目標を立て、日々の活動を記録し、自己評価を行い、教師がそれを支援するための

ノウハウをワークシートとともに紹介しています。

体験交流活動を通じた日本語学習は、①何のために何を学ぶかが明確なため、学習の動機づけが高まり、主体的に取り組める、②日本語環境における行動力がつく、③各自の日本語レベルに合わせた日本語運用体験ができ、達成感がある、④活動を通じて自らの日本語力を確認できる、⑤教室外の人や社会に触れることで、日本についての理解を深めることができる、といった利点があります。クラスの活性化や動機づけのため、また日本文化や社会の理解のために参考にしてみてはどうでしょうか。

1. 体験交流活動	2. コースデザイン	3. Nipponガイド
① 地域オリエンテーリング	① コースを始める	① 日本の地理
② ご近所オリエンテーリング	・アイスブレイク	② 日本の歴史
③ タウンページを作ろう	・インタビューと学習相談	③ 方言 (関西弁)
④ 交流会	・自己目標を書く	④ 若者ことば
⑤ ホームステイ	・活動記録をつける	⑤ ホームステイ
⑥ フィールドトリップ	② コースを終わる	⑥ 日本の教育
⑦ インタビュー	・自己評価をする	⑦ アニメ・マンガ
⑧ 小学校訪問	・学習計画を立てる	⑧ 伝統芸能
⑨ 高校訪問	・最後の学習相談	⑨ 茶道
⑩ 工場見学	・研修アンケート	⑩ 華道
⑪ 発表会	③ コースデザイン例	⑪ 書道
		⑫ 着付け

目標と学習方法をわかりやすく示した中級教科書

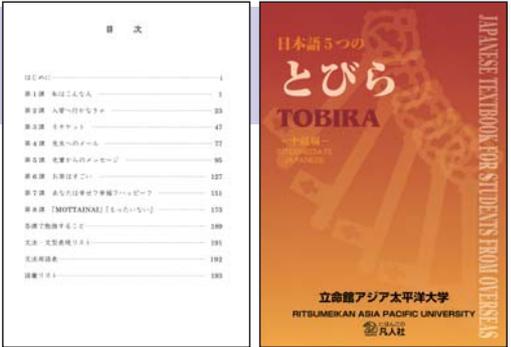
『日本語5つのとびら (中級編)』

●データ●
1 立命館アジア太平洋大学「日本語5つのとびら」編集委員会 **2** 株式会社凡人社
 (〒102-0093 東京都千代田区平河町1-3-13)
 TEL. 03-3263-3959 FAX. 03-3263-3116
 URL. <http://www.bonjinsha.com> **3** 2008年4月
4 978-4-89358-659-9 **5** B5判、196頁
6 1,995円

文型練習と簡単な会話を中心に学んできた初級が終わって、中級では何を目標にして教えたらいいのか、どんな教科書を使ったらいいのか、悩んでいる先生は少なくありません。本書は、各課の目標(読解、書く、話す)がわかりやすく示されていて、技能の具体的な練習がある、学びやすい中級教科書です。著者によると、この教科書の対象は日本の

大学で学ぶ留学生で、大学で専門的な授業を受けられるようになることをめざすとありますが、以下のような目標をかかげていることから、海外で中級以上に進む学習者にも適していると言えます。

- 相手や場面によって適切な言葉や表現を使い分けて話す
 - 構成や流れを考えながら話したり書いたりする
 - 要点をつかむことを目的にして長いテキストを聞いたり読んだりする
- 各課の構成は、以下のようになっています。「この課で勉強すること」…その課の具体的な目標を紹介する
 「聞く」…本文を聞いて要点をつかむ
 「読む」…前作業や後作業のある読解練習
 「日本語を知らう」…日本語に関する知識を増やす



「表現練習」(書く・話す)…場面や目的のはっきりとした技能の練習
 「文法・文型練習」…中級の文法・文型の練習
 なお、聴解教材やモデル会話を聞いたり、練習問題の解答を確認したりすることができるウェブサイトも用意されています。
 この教材には、中級編の次のレベルとして中上級編があり、それぞれに本冊と漢字・語彙練習の本があります。また、日本の大学に入学したばかりの学生のためのサバイバル編もあり、全部で5冊のシリーズになっています。

中級学習者のための、聴解教材がCD付きで内容も一新
 『中級日本語音声教材 新・毎日の聞きとり50日 上・下』

●データ●
1 宮城幸枝、太田淑子、柴田正子、牧野恵子、三井昭子 **2** 株式会社凡人社(〒102-0093 東京都千代田区平河町1-3-13)
 TEL. 03-3263-3959 FAX. 03-3263-3116
 URL. <http://www.bonjinsha.com> **3** 2007年6月
4 上巻 978-4-89358-632-2、下巻 978-4-89358-633-9 **5** B5判 62頁(上巻)、64頁(下巻) **6** 2,100円 **7** CD1枚

本書は、16年前に出版された教材の改訂版です。改訂のポイントは、内容が一新したこととカセットテープがCDになったことで、教材制作のコンセプトは変わっていません。

- 初級段階が終わると、身近なものから公共性の高いテーマが増え、深い内容の理解や抽象的な表現の習得が目標となるため、学習の中心が文字言語になる傾向にあります。しかし、本書がねらいとしているように
- 「論旨が明快で、より基本的な語彙と文で構成されている短いテキストをたくさん聞き」
 - 「日本語の文や文章の組み立て方、話の進め方、日本人の考え方に触れること」(本書「まえがき」より)

は、中級から上級へ進むための基盤作りとなります。ですからテキストの種類もダイアログより説明や解説スタイルのモノログが多くなっています。ただし、テーマは「弁当の日」「コンビニ図書館」「『もったいない』を国際語に」など日本に関するものを中心に学習者が興味を持てそうなテーマが選ばれています。

上巻、下巻それぞれ25課ずつですが、1課の本文の録音時間は1分から2分半程度とコンパクトな作りになっています。

- 1課の構成は、「タイトルと写真やイラスト」「はじめに」「内容に関する選択問題と要約文の空欄に適語を記入する問題」から成っています。
- 巻末に語彙表があり、別冊として本文のスクリプトと問題の解答があります。漢字にはすべてルビが振られていますから自習用に使っていただくこともできます。また、教師の工夫によって、単に聴解練習としてだけでなく「音声言語のインプット



として活用し、内容について話したり、表現法や漢字語を覚えたり、文法の復習に使ったりするなど多面的(本書「この教材を使う先生方へ」より)な活動に利用できるようになっています。

2. 旗のデザイン
 (CD④)聞きまよう
 旗は、この国の象徴です。これから旗のデザインの説明をします。正しい旗のデザインを覚えてください。

この旗は、まっすぐなオリーブの旗が上下に白帯で飾られています。旗の中心には、太陽の輪が描かれています。その中心には、太陽の輪が描かれています。その中心には、太陽の輪が描かれています。その中心には、太陽の輪が描かれています。

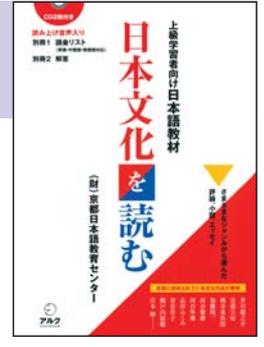
この旗は、旗の中心に太陽の輪が描かれています。その中心には、太陽の輪が描かれています。その中心には、太陽の輪が描かれています。その中心には、太陽の輪が描かれています。

3. 海からの便り
 (CD⑤)聞きまよう
 この便りは、海からの便りです。海からの便りには、いろいろな情報が含まれています。その中には、海からの便りに関する情報が含まれています。その中には、海からの便りに関する情報が含まれています。その中には、海からの便りに関する情報が含まれています。

この便りは、海からの便りです。海からの便りには、いろいろな情報が含まれています。その中には、海からの便りに関する情報が含まれています。その中には、海からの便りに関する情報が含まれています。その中には、海からの便りに関する情報が含まれています。

読解素材の魅力を重視した教材

『上級学習者向け日本語教材 日本文化を読む』



●データ●
1 (財)京都市日本語教育センター 西原純子、井上真理、吉田道子 **2** 株式会社アルク (〒168-8611 東京都杉並区永福2-54-12) TEL.03-3323-5514 FAX.03-3323-2021 URL. http://www.alc.co.jp/ **3** 2008年10月 **4** 978-4-7574-1473-0 **5** B5判、148頁 **6** 2,520円

指針を与えてくれるかもしれません。収録されている文章は評論家、小説家、学者によるものであり、18編中、評論が8編、エッセイが5編、文学作品が5編あります。「よい文章」といっても、人によって感じ方も異なり、定義するのは難しいかもしれません。しかし、ここに収められているものはいずれも一定レベルの質を持った作品と言っていいでしょう。

置いた教科書であるためか、読む前や読んだ後の活動は含まれておらず、必要に応じて教師が作成していかなければなりません。教師の楽しみといえないでしょうか。

「日本語をさらに上達させるためにはどうしたらいいですか。」

「文章をたくさん読むといいです。」
 「では、どんな文章を読んだらいいでしょうか。」
 「そうですね…」

と問いかけて困ってしまうことが多いですね。皆さんも、日本の本が手に入りにくかったり、たくさん本がある中から何を读んでいいのかわからなかったりすることがありませんか。

この教科書は、読解から読書へ導くひとつの

各編は、現在の文芸作品の多くがそうであるように、たて書きで印刷され、本文の下の欄には、内容に関する注、問い、まとめの問題が載っています(別冊解答付)。本文の最後には出典と著者紹介も掲載されています。

また、読み上げ音声収録されたCDと本文の語彙リスト(英・中・韓国語訳)が付録として付いています。

日本語学習を超えて、日本語の文章を味わい、読書を広げていくきっかけになることでしよう。

本書は、質の高い文章を提供することに主眼を



分かりやすい文章の書き方から、学術論文を書くまでをステップで『これから研究を書くひとのためのガイドブック』



●データ●
1 佐渡島紗織、吉野亜矢子 **2** 株式会社hituzi 書房(〒112-0011 東京都文京区千石2-1-2大和ビル2F) TEL.03-5319-4916 FAX.03-5319-4917 URL. http://www.hituzi.co.jp/ **3** 2008年5月 **4** 978-4-89476-368-5 **5** A5判 274頁 **6** 2,100円 **7** CD1枚

なっています。「導入」:その章で学ぶ主要な内容がクイズ形式で出題されています。「練習問題」:学習した内容の理解を確認するための練習問題です。「アクティビティ」:学習者のレベルや、書く目的に応じて選択できるように、複数の活動が提示されています。

できます。本書はひろく日本語の「書くこと」の指導の場にも活用できるでしょう。文章編の「一文一義で書く」や「マップを作って書く」「パラグラフを作る」「主張を根拠で支える」「論点を整理する」などは、大学のレポートなど学術的な文章を書くための入門的なスキルでもあります。

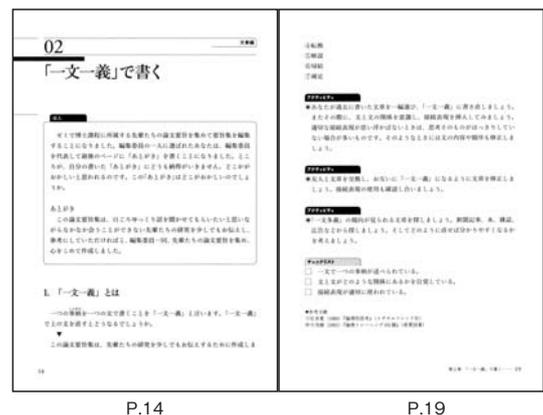
本書は、日本の大学や大学院で研究をする人、研究をする人を育てる人のために書かれたものです。本書の構成は、第一部の「文章編」と、第二部の「論文編」からなっています。「文章編」では、分かりやすい文章・学術的文章の書き方についての基礎的なスキルが紹介されています。「論文編」は、より専門的な領域として、文献研究と実証研究の二つを取り上げ、学術論文を書くための共通のステップとそれぞれの研究に必要な要素が丁寧に紹介されています。

「チェック・リスト」:その章で学習した内容が自分の文章に反映されているかどうかを自己点検することができます。上記の「アクティビティ」では、例えば、学習した内容を踏まえて自分の文章を実際に直してみるセルフ活動や、友達と交換して修正するピア活動、さらに、新聞や雑誌など実際の文章を通して学習を発展させる活動などが挙げられています。また、付属CD-ROM

には、各コーナーの解答と解説、「追加アクティビティ」や「配布資料」などが掲載されており、自習用としても活用

本書の特徴は、「文章編」と「論文編」がそれぞれ15週間(半期)の授業で使えるようにしてある点です。各章の構成は、次のように

には、各コーナーの解答と解説、「追加アクティビティ」や「配布資料」などが掲載されており、自習用としても活用



P.11~13は日本語国際センター・関西国際センターの以下の専任講師・専門員が図書を選び、分担して紹介文を執筆しました。

熊野七絵、八田直美、三原龍志、生田守、金孝卿(執筆順)

文法を楽しく!!

「取り立て助詞」

と た じょ し

通信で習った項目: 「は」と「が」、他動詞・自動詞、受身、やりもらい、～ている、～である、～てくる、～ていく、～ために、～ように、～たら、～と、～で、～なくて/ないで、現象描写・判断・働きかけ
 に対して・について、によって、ばかり、**取り立て助詞**

先日、私が教室に入っていったとき、ある学生が言いました。

「先生、今日はきれいですね。」

その日私は新しい洋服を着ていました。学生はそれを見て、そう言ったのでしょう。でも、そのとき私は、とても複雑な気持ちになりました。

「今日はきれいな。…では、いつもはきれいなじゃないのから?」

その学生は「先生が今日きれいだ」ということを伝えたかっただけです。決して、いつもと比べて「今日だけ」きれいだと言おうとしたのではないようです。なのに、なぜ日本語母語話者は「今日はきれいだ」と聞いて、「今日以外はそうではない」というように感じるのでしょうか。

これは「今日は」の「は」のせいなのです。「は」は取り立て助詞(とりたて助詞とも言う)と言って、話す人の「そのものを特に取り上げる」という気持ちを表します。取り立て助詞には、聞き手に何かしらほかのことを連想させる、暗にほかのことをほのめかす働きがあります。「は」「も」また、前回勉強した「ばかり」も取り立て助詞です。

取り立て助詞を使うと、基本的な意味のほかに、程度の差はありますが、何かと比べた(対比的な)意味合いが存在します。

では、ここで問題です。次の問題は、まず会話や文があつて、そのあとの*には、その会話や文で本当に言いたいことが示されています。()の中に適当なことばを入れてください。

答えを考える前に、まず、1～11の会話や文はどういう状況の中で、また、会話の場合、誰と誰の会話かも考えてくださいね。

【問題】

- 子: わー、今日はすきやきだ。
母: そうよ、でも、肉ばかり食べないでね。
* 「() だけでなく、() も食べてほしい」という母親の気持ちが込められている。

2. 店員: いらっしゃいませ。どういったものをお求めですか。

客: いえ、ちょっと見せてもらっているだけです。

* 「今日は何も () ということ」を店員に伝えている。

3. A: 昼休み、ちょっと出られる。

B: ごめん、昼休みは30分しかないんだよ。

* 「昼休みの時間が () から () 忙しい」ということを言いたい。

4. 〈電話で〉

A: はいはい、今どこですか。

B: まだ駅なんです。11時にはそちらに着けると思いますが。

* 電話の相手は、「遅れそうだが、() 11時に着くことができる」と言っている。

5. 働いて少し貯金したが、20万円では頭金にもならない。

* 20万円はとても () て、家/車を買う足にはならないと言っている。

6. A: 君が知っているんだろ。

B: 知らないわよ。あなたこそ白状しなさいよ。

* 相手を指定して、「() じゃなくて、() だ」ということを強く言っている。

7. 妻: お父さん、早く起きてくださいよ。

夫: えー、日曜日くらい、ゆっくり寝させてくれよ。

* 「せめて」の気持ちが含まれ、「() は朝早く起きているんだから、せめて () は…」という意味合いが込められている。

8. A: 会社の経営はどうですか。

B: いつも苦しいですが、今年ほどうまく行かない年はありませんね。

* 今年の会社の経営が () 苦しいという気持ちが込められている。

9. 物忘れがはげしいと聞いていたが、久しぶりに
会った父は、私の名前さえ忘れていた。
* 父親の()が非常に進んでいるという
実感を表している。
10. A: おいしそうですね、この魚。
B: 油で揚げてあるので、骨まで食べられますよ。
* この魚は骨が食べられるほど()
なっているという意味を表している。
11. A: 久しぶり。いっしょにお茶でもどうですか。
B: ああ、いいですね。
* 「いっしょにコーヒーか何かを飲みながら
話ませんか」と()いる。

できましたか。答えはこのレッスンの最後に示して
あります。

では、1~11に出てきた取り立て助詞の役割を、順に
見てみましょう。

1の「ばかり」については前回説明しました。「ばかり」は、
「いつもそうする」「全部そうだ」という意味を表し、
通常は、話し手の否定的、消極的な気持ち（マイナス
評価）を含みます。「ほかのものは食べずに、いつも
（もっぱら）肉を食べること」が母親にとってマイナス
評価になるのですから、「肉ばかり食べる」代わりに
「ほかのもの、例えば、野菜なども食べる」という対比的な
意味合いが出てきます。

2の「だけ」の基本的な意味は、「～についてはそうで
あるが、それ以外の予想・期待される人・もの・ことは
そうではない／なかった」という意味を表します。
したがって、「見せてもらっているだけ」は、店員の
期待には沿えない、買う予定はないことを表します。

3の「しか」は、話し手がそのことに対して、「不十分
である、量・数が少ない」という気持ちを表します。
昼休みが30分しかないということは、「昼休みの時間が
短い、だから、昼休みには外へ出られない」ことを示唆
します。また、それほどに忙しいということも含まれて
いると思われます。

「は」「も」は広い意味用法を持っていますが、4では
11時半や12時とは違って「遅くとも11時に着く」という
気持ちを「は」で表しています。5では述語に「ならない」を
伴って、強い全面否定を表しています。「も」のない
「頭金にならない」は、単に事実を述べているだけですが、
「頭金にもならない」となると、聞き手は20万円は全く
役に立たない、それほどの少額であると感じてしまいます。

6の「こそ」は、その人・もの・ことを取り上げて、

「ほかでもなく、これなのだ」と強く指し示す働きを
持っています。「あなたこそ」と言って、B本人ではないと
強く否定しています。

「くらい（「ぐらい」とも言う）」と「ほど」は程度を
表します。

7の「くらい」は、その事柄（ここでは「日曜日」）を限定して
「少なくとも～は（したい）」「せめて～は（してほしい）」
という意味になります。つまり「普段はそうじゃないんだから、
日曜日は…」という対比が入ります。8の「ほど」は、
「～ほど～名詞+はない」という表現で「それ以上のものは
ない」「本当に～だ」という意味を表します。

9、10の「さえ」と「まで」は、普通はめったに結び
つかない極端な例を出して「それほどに程度が大きい」
「事態が尋常ではない」ということを表します。「さえ」が
その前に来る名詞に焦点を当てて、「普通ならそうでは
ない人・もの・ことが、そうする／そうである」ほどに
程度が大きいと主張するのに対し、「まで」はあとに来る
述語（動詞・形容詞など）に焦点が当たり、「普通では
考えられない範囲にまで事態が及んでいる、そこまで
行っている」、それほどに程度が大きいということを表
します。

9では、普通なら「息子の名前」を忘れるはずがない
のに、それを忘れていて、それほどに父親の病気が
進んでいることを、一方、10では、「食べられる」という
ことを強調し、「身や皮はもちろん骨も食べられる」、
したがって、それほどにこの魚は柔らかくなっている
ということを言っています。

11の「でも」はお茶を例に出していますが、コーヒー
でも紅茶、ジュースでもよく、話し手の言いたいことは、
いっしょに話ませんかと誘っていることです。

【問題の答】

- 1-肉、ほかの物（野菜など） 2-買わない 3-短い、
出られない 4-遅くとも 5-少なく 6-私、あなた
7-普段（他の日・いつも）、日曜日 8-非常に（とても）
9-病気（認知症） 10-柔らかく 11-誘って

参考文献

市川保子(2007)『中級日本語文法と教え方のポイント』
いちかわやすこ ちゅうきゅう にほんご ぶんぽう おし かた
スリーエーネットワーク

このコーナーの担当者：市川保子（日本語国際センター客員講師）

このコーナーについてご感想や質問があれば送ってください。「ヤスコの日本語ハウス」という個人のホームページを開いています。

英語の翻訳も付いていますので、ぜひ活用してください。ホームページのアドレスは、<http://homepage3.nifty.com/i-yasu/index.htm>です。

KC研修生の
(関西国際センター)

Nipponリポート

第13回

服を無駄にして
いませんか？

このコーナーでは、関西国際センターの日本語研修に参加している
研修生が研修を通して発見したNipponについてレポートします。



「研究者・大学院生日本語研修(2ヶ月)」のショウ カユさん(中国)は、服のリサイクルについて研究しています。日本では、服を無駄(waste)にしないために、どのような方法があるのかを知りたいと思い、いろいろな場所を訪問しました。

アウトレットモール(outlet mall)と古着屋(secondhand clothes store)を訪問しました



【アウトレットモール】

セールで売れなかったものや、少し傷(a flaw)のあるものなどを
売る店です。日本のアウトレットモールは大きくてきれいなところ
が多いです。今、人気のある服もたくさんありました。
シャトルバスもあって便利です。



【古着屋】

一度着て古くなった服を売る店です。たくさんの服が
並べられていて、全部390円という店もありました。
クリーニングしてあるので、安心して着ることができます。



古着を買ってくれる店にも行きました。



東南アジアに輸出したり、
車のクッションの材料
(material)に使われます。



お店で売る服と、そうでない
服に分けます(sort out)。
毎日400キロから1トンぐらい
の古着が集まるそうです。



店には、アクセサリや
かばん、くつ、ゆかた
などもありました。

日本の古着屋には、子ども用から
お年寄り用(the old)の服まで
いろいろありました。
それから、ブランド品ではなくて、
普通の服を買ってくれる店も
あるので、便利だと思いました。



日本では、みんながよく節約(economize)をしています。リサイクルについての考え方も
進んでいて、服だけでなく、いろいろなものを再利用していました。中国も、これから
だんだん変わっていくと思います。物を無駄にしないことは大切だと思いました。

▽服や物のリサイクルについてもっと知りたい人は下のURLを見てください。

- このゆびとまれ! エコキッズ (日本語) <http://www.eic.or.jp/library/ecokids/>
- 経済産業省 3R政策 (日本語/英語) <http://www.meti.go.jp/policy/recycle/index.html/>
- キングファミリー リサイクルシステム (日本語) <http://www.kingfamily.co.jp/recycle/index.html/>

このコーナーの担当者: 岡野祥子・品川直美 (関西国際センター日本語教育専門員) リポーター: ショウ カユ (中国)